

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3771300393
法人名	医療法人社団一真会
事業所名	医療法人社団一真会グループホームまごころ
所在地	香川県木田郡三木町井戸533-3 (電話)087-890-3151

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年9月20日	評価決定日	平成20年11月5日

## 【情報提供票より】(20年8月7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年2月28日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	21人	常勤	15人, 非常勤 6人, 常勤換算 5.7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 5階建ての2階～4階部分
------	----------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000～44,000円	その他の経費(月額)	5,000円	
敷金	有( ) 円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (家賃1か月分) 無	有りの場合 償却の有無	(有) 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,150円	

### (4) 利用者の概要(8月7日 現在)

利用者人数	27名	男性	5名	女性	22名
要介護1	4名	要介護2	13名		
要介護3	3名	要介護4	6名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	72歳	最高	93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人一真会 川人外科内科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

5階建ての建物の1階はデイケアセンターを運営しており、地域の方との交流の場となっている。同敷地内に経営母体である医療施設があり、受診や緊急時において迅速に対応できる環境である。終末期の方針についても、医師や関係職員、家族などと十分に話し合い、柔軟な対応ができています。地域に根ざすことを目標に地域との交流に力を入れている。管理者・職員は利用者一人ひとりの言動から思いや生活について理解しようとする姿勢が顕著であり、様々な場面で利用者の暮らし方に対する気づきが見られ、利用者サービスに活かされている。ホーム内は明るく、家族の面会時についても話しやすい雰囲気がある。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	自己評価について職員一人ひとりが自分の介護を見直す機会と捉え、自己評価を活用することを課題に取り組んでいた。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題でもあり、全員で話し合いをし、グループリーダーが中心にまとめていた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2か月ごとに開催している。以前は施設側からの現状や活動報告が中心であったが、徐々に参加者も増え、活発な意見交換や具体的な質問などもできるようになるなど積極的な取り組みがみられる。今後、地域に浸透し、具体的な活動につながることを期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の来所時に意見や要望などを聞くようにしたり、意見箱を設置している。家族との関係は良好であり、意見や要望を言いやすい雰囲気をつくっている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近くの神社の草取りや近隣の寺の行事に参加するなど、地域の行事に参加している。さらに、利用者一人ひとりが地域とつながりながら過ごしていける取り組みを期待したい。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の支援を受けて、地域に根付き、安心した施設になることを目指し、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に理念を掲げ、来所者にも理解できるよう取り組んでいる。また、毎朝、申し送り時、職員全員が理念を復唱し、確認し合うようにしている。	○	「地域に根付き安心した施設と評価されること」を目標に管理者、職員共に共有できている。今後、具体的なケアに取り組めるように目標を掲げることを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	秋祭り・護摩供養など地域の行事に参加し、地域の方との付き合いに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、一人ひとりが処遇を見直す機会として捉え、全員で自己評価に取り組んでいる。外部評価の結果は定期的にカンファレンスを開催し、話し合いの機会を持ち、改善に努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的を開催している。以前は施設側からの現状や活動報告が中心であったが、徐々に参加者も増え、活発な意見交換や具体的な質問などもできるようになるなど積極的な取り組みがみられる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>積極的に庁舎に出かけ、担当者との情報交換に努めている。しかし、課題解決に向けた関係づくりへの取り組みが不十分である。</p>	○	<p>担当者に対してホームの状況や運営の実態の共有や課題解決に向けての協議が行える関係づくりを期待したい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月便りを作成し、行事予定や利用者の暮らしぶりを丁寧に報告している。家族の面会、行事への参加も多く見られるため、来所時に健康状態や近況報告をしている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会の開催や意見箱を設置し、家族が意見や要望を言いやすい雰囲気づくりに努めている。家族と話しやすい姿勢をとっていることがうかがえる。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職者が少なく、ユニット間の異動も最小限に抑えている。異動時は事前にユニットを訪問し、交流することで顔なじみの職員によるケアを心がけている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員自ら研修や資格取得に対する意識が高く、県や町主催の研修会に参加できるように配慮している。法人内の医師や看護師による研修も定期的実施している。また、外部講師を招いての医療関係の院内勉強会も開催し参加している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会などで他の事業者の方との交流を図っている。また、他の事業所に訪問するなどしているがネットワークづくりやサービスの向上につながる活動までには至っていない。</p>	○	<p>他の事業所との相互訪問、交流に対する取り組みに努めている。地域の関連事業所や連絡協議会などへ参加し、ネットワークづくりやサービスの向上につながる活動を期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に施設見学に來たり、家庭訪問、病院での面接などを通して馴染みの関係をつくりながらサービス利用できるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の話を聞いたり、子どもの頃の遊びを一緒にしたり、料理の味付けを一緒にしたりしている。	○	利用者の趣味や特技を活かし、職員と利用者が相互に協働しながら日々の生活ができる取り組みを期待したい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や表情、しぐさなどから本人の思いや意向を把握するよう努めている。また、入浴介助などで一対一で利用者向き合える時にふと本人が漏らした言葉などをきちんと捉え、職員間で検討することができている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で本人や家族の思いや意見を聞き、反映されるようにしている。アセスメントを含め、職員全員でケースカンファレンスを行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回カンファレンスで、定期的な見直しや利用者の状態変化や状況、家族・本人の要望に応じて見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関との連携ができており、緊急時や終末期への柔軟な対応が可能である。また、本人、家族の状況に応じて、通院や送迎など必要な支援は柔軟に対応している。	○	高齢者の状況に応じてショートステイなどの利用ができるよう多機能性を活かした取り組みを期待したい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同敷地内の協力医療機関への受診を支援をしている。本人や家族の希望により、かかりつけ医に受診する支援も行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に重度化や緊急時の対応について話し合いを行っている。重度化など事態の変化があれば、医師、医療関係者、家族、職員間で話し合いを重ね、全員で共有できるようにしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホールなど目につく場所に個人情報保護方針を掲示し、職員の責務を明確にし、記録などの個人情報の取り扱いにも留意している。一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけや対応にも十分に配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	普段より、本人や家族への丁寧な聞き取りにより、一人ひとりのペースを大切に、その人らしい生活を送れるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常は関連施設との一括調理になっている。ご飯はホームで炊いている。月に何回かは料理教室で家族も参加し、一緒におやつを作ったり食事を調理したりする。また、時には外食もするなど食事を楽しめるよう努めている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日利用できるようにしている。利用者のその日の希望を確認して入浴が行えるようにしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ピアノ演奏など特技が発揮できる場面づくりなど心がけている。しかし、一人ひとりの生活歴などを把握できているが、日々の生活の中で具体的な役割として十分に発揮できるまでには至っていない。	○	全ての利用者に対して、一人ひとりの生活習慣や特技、潜在している記憶や能力が発揮できる支援の取り組みを期待したい。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の重度化傾向もあるが、利用者の希望に沿って、外気浴や散歩などを行い、季節を肌で感じたり、気分転換につながるよう努めている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、エレベーター共に鍵はなく、玄関はデイケアと共有で常に見守るケアが徹底している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	119番通報システムを完備している。消防職員と一緒に防火訓練を実施している。しかし、地域の方への協力へ働きかけは具体的に実施できていない。	○	地域の方を交えての避難訓練や夜間の火災を想定した防火訓練の実施を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の食事摂取量を把握し、記録している。水分摂取量についても記録をとるなど、利用者一人ひとりに応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全館、清潔感がある。利用者と職員の手作りである壁面装飾は季節感が感じられる。また、季節の草花がさりげなく飾られており、明るく落ち着いた雰囲気である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い慣れたテーブルや椅子、たんす、装飾品など持ち込み、その人らしい生活ができるよう配慮している。		